

平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古人の心を未来に繋ぐ
事業主体 (連絡先)	山形村史談会 史談会会長 上條光男 Tel 0263-98-2011 会計 上條拓雄 Tel 0263-98-2418
事業区分	主となる区分： 教育、文化の振興に関する事業 関連する区分： 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,520,662 円 (うち支援金 : 1,216,000 円)

事業内容

本事業は、地域の貴重な歴史的遺産を後世につなぎ、その活用を通じて地域づくりの基礎となる地域に愛着と誇りを持った人材の育成を進めるものである。このため、ふるさとを学ぶ教材として、史談会の調査研究による道祖神の写真集と道祖神の名称表示看板を整備した。



【名称表示看板設置作業風景】

【目標・ねらい】

- ① 先人が残してくれた道祖神の由来・所在を紹介し古人の思いを村民に伝える。
- ② 小学校、公民館等のふるさと学習に活用して頂き未来に継承したい
- ③ 山形村の観光資源を紹介し山形村を訪れる観光客誘致の一助としたい

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

事業効果として、写真集の完成及び名称表示看板の設置ができた。
今後古人の心を未来に繋ぐ取り組みを行う。

- ・ 小学校の「ふるさと学習」カリキュラムの増加
- ・ ふるさとを学ぶ総合講座の増加
- ・ 観光協会と連携した道祖神巡りのメニュー化による観光入込客数
- ・ 道祖神案内ボランティアの増加

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

※自己評価【 B 】

【理由】
今年度の本事業は写真集製作と名称表示看板の設置であることからこれらは達成できた。
今後にはについては目的である事業効果を達成することが責務であると考えている

- 1.写真集は小学校の「ふるさと学習」、公民館総合講座「ふるさとを学ぶ」の教材に活用する。
- 2.観光協会に展示し道祖神のPRし、道祖神巡りをより活発化し観光客の誘致を図る。
- 3 上記2道祖神巡り案内ボランティア養成に写真集を活用し史談会員を中心に増員を図る

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある